

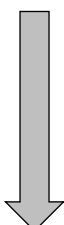
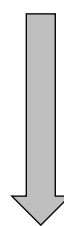

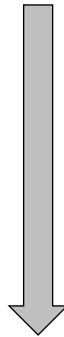
## 特集 3

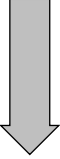
# 児童生徒の学力向上を目指して学校全体で取り組んでいくために ～校内研修のすすめ～

児童生徒に学力を付けていくことは、私たちの共通な思いです。学力向上を目指した個の取組も大切です。加えて、学校全体で身に付けさせたい力は何かをはっきりさせ、共有していくことは、児童生徒一人一人を全体で伸ばすことにつながります。そのためにも、校内研修を充実させ、学校全体の組織で授業改善、学力向上に取り組む必要があります。

各学校で、研修の回数等状況は様々ですが、下記のもは取組の一例です。

### 学校全体での校内研修(学力向上)の例

		【校内研修】	【部会等】
<div style="text-align: center;"> <b>Plan</b>    <b>Do</b>    <b>Check</b>    <b>Action</b>   </div>	4月	<b>学力向上1 (年度当初の共通確認)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「共通実践事項」の設定, 確認</li> <li>学年や教科で学年がスタートするにあたり, 具体的な課題を再確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内の学力向上推進委員や学力向上担当を中心に課題が継続していること, 「共通実践事項」や共通理解すべきことの確認, 全体への提案</li> </ul>
	5月～ 5月～ 7月	<b>学力向上2 (誤答分析①)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の誤答傾向をつかみ, 校内の指導方針を固める。(課題があったところを, 全職員で年間指導計画に追記する。)</li> <li>年間の「共通実践事項」や1学期に押さえる必要があることを再確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部会等で問題を解き, 自校の分析の提案(担当だけでなく, 全員で取り組む。)</li> </ul> <p>【「共通実践事項」に基づいた各教員の授業実践】</p>
	8月 8月～ 9月	<b>学力向上3 (誤答分析②)</b> <p>○ 自校の結果の詳細な分析を基に, 再度, 4月に設定した「共通実践事項」の確認や見直しを行い, 共通理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部講師等を招き, 自校の分析を基にした校内研修を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>詳細な分析を基に, 再度「共通実践事項」を確認</li> <li>推進委員は, 校内研修で効果的な分析や資料の収集を行い, 研修の提案を検討する。(鹿児島学習定着度調査や諸調査との関連も含む)</li> </ul>
	9月 10月 ～	<b>学力向上4 (研究授業を通じた研修)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「共通実践事項」の実践状況や「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について, 研究授業を通じた校内研修を実施する。</li> </ul> <p>【ワークショップ型の授業検討会】 授業参観の視点に基づいたグループ協議 → 授業の分析 → 改善策の検討, 策定</p>	<p>【「共通実践事項」を意識した研究授業の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた研究授業を基にした研修の計画</li> </ul>

<b>Plan</b> 	1月	<b>鹿児島学習定着度調査</b>	<b>【誤答分析に基づいた各教員の授業実践】</b>
	2月	<b>学力向上5（分析と今後の指導の確認）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詳細な分析を行い、再度「共通実践事項」を確認</li> <li>・ 分析を基に、補充指導や学び直し等の指導を確実に行う。（次年度へ持ち越さない。）</li> </ul>
	2月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誤答傾向から本校の児童生徒の傾向をつかみ、校内の指導方針を固める。（課題があったところを、年間指導計画に追記する。）</li> </ul>	

## 分析後の取組では、このような問題を活用しては？

- ・ 鹿児島学習定着度調査（過去の問題含む）
  - ・ 全国学力・学習状況調査（過去の問題含む）
  - ・ かごしま学力向上支援Webシステムの単元別の評価問題 等
- ※ 上記の問題を家庭学習の課題として出題したり、部分的に定期考査等に出題したりすることも考えられます。

## 校内研修で、ぜひ活用してみては？

【鹿児島県教育委員会】Webサイト <https://www.pref.kagoshima.jp/kyoiku>

- ・ 学びの羅針盤 ， 鹿児島学習定着度調査報告書及び中間まとめ、全国学力・学習状況調査報告書（県版、全国版）

【県総合教育センター】Webサイト <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/>

- ・ 学習指導要領解説 Q&A (小学校全教科等，中学校一部教科等)
- ・ <平成 23 年度発行> みんなで取り組み，学び合う授業研究  
  - －授業力やチームワークの向上を目指して－
- ・ <平成 26 年度発行> 授業力を高める校内研修の進め方  
  - －「みんなで取り組み，学び合う授業研究」を通して－
- ・ <平成 28 年度発行> 「みんなで取り組み，学び合う授業研究」の進め方Ⅱ  
  - －授業力向上を図るワークショップ型研修を通して－

【独立行政法人教職員支援機構（NITS）】Webサイト <http://www.nits.go.jp/>

- オンライン研修（専門家による 20 分程度の講義動画を公開）  
（授業動画例）
  - ・ 小学校学習指導要領・中学校学習指導要領 総則
  - ・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて など
- 研修プランシリーズ～主体的・対話的で深い学びのために～  
（主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善につなげるための「研修プラン」を提案する 5 分程度の動画を公開）  
（研修プラン例）
  - ・ 主体的・対話的で深い学びの三つの視点を養う。
  - ・ 子供の問い，気づき，考えをイメージして単元等を見直す。